

5. 自己資本の状況

◇自己資本比率の状況

当JAでは、多様化するリスクに対応するとともに、組合員や利用者ニーズにこたえるため、財務基盤の強化を経営の重要課題として取り組んでいます。内部留保に努めるとともに、不良債権処理及び業務の効率化等に取り組んだ結果、平成21年3月末における自己資本比率28.10%となりました。

◇経営の健全性の確保と自己資本の充実

当JAの自己資本比率は、組合員の普通出資のほか、回転出資によっています。

○普通出資による資本調達額 374,387千円（前年度 370,230千円）

○回転出資による資本調達額 31,752千円（前年度 31,761千円）

当JAは、「自己資本比率算出要領」を制定し、適正なプロセスにより正確な自己資本比率を算出して、当JAが抱える信用リスクやオペレーショナル・リスクの管理及びこれらのリスクに対応した十分な自己資本の維持を図るとともに、内部保留の積み増しにより自己資本の充実に努めています。